

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)

【公開番号】特開 2001-160238 (P2001-160238A)
 【公開日】平成 13 年 6 月 12 日 (2001.6.12)
 【出願番号】特願 平 11-343550
 【国際特許分類第 7 版】
 G 1 1 B 7/135
 G 1 1 B 19/12
 【F I】
 G 1 1 B 7/135 Z
 G 1 1 B 19/12 5 0 1 N

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 9 月 17 日 (2004.9.17)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 5】

図 7 において、1 0 0 は、C D 用の第 1 の光源（波長 7 8 0 n m のレーザ光を出力）、2 0 0 は D V D 用の第 2 の光源（波長 6 5 0 n m のレーザ光を出力）である。第 1 の光源 1 0 0 から出射した光は、回折格子 1 0 1 を介して第 1 のビームスプリッタ 1 0 2（平板タイプ）により反射され、第 2 のビームスプリッタ 1 0 3 を通過する。この第 2 のビームスプリッタ 1 0 3（プリズムタイプ）に対しては、第 2 の光源 2 0 0 からの光が入射している。第 2 のビームスプリッタ 1 0 3 は、第 2 の光源 2 0 0 からの光に対しては、その進行方向を変換し、第 1 の光源 1 0 0 からの光の進行方向と同じ方向にする。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 8】

C D 1 0 7 の再生時には、第 1 の光源 1 0 0 からの光が、上述した経路を通り、C D 1 0 7 の情報記録面に照射される。C D 1 0 7 の記録面からの反射光は、対物レンズ 1 0 6、折り返しミラー 1 0 5 に入射する。ここで折り返された反射光は、コリメートレンズ 1 0 4、第 2 のビームスプリッタ 1 0 3 を直進透過し、第 1 のビームスプリッタ 1 0 2 の透過し、光検出器 1 0 9 に入射する。この光検出器 1 0 9 では、反射光を複数のフォトダイオードで検出し、光学的に読み取られた記録情報を電気的な読取り信号に変換する。また、トラッキング誤差信号及びフォーカス誤差信号なども生成する。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 9
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 9】

D V D 1 0 8 の再生時には、第 2 の光源 2 0 0 からの光が、上述した経路を通り、D V D 1 0 8 の情報記録面に照射される。D V D 1 0 8 の記録面からの反射光は、対物レンズ

106、折り返しミラー105に入射する。ここで折り返された反射光は、コリメートレンズ104、第2のビームスプリッタ103を直進透過し、第1のビームスプリッタ102も透過し、光検出器109に入射する。この光検出器109では、反射光を複数のフォトダイオードで検出し、光学的に読み取られた記録情報を電氣的な読取り信号に変換する。また、トラッキング誤差信号及びフォーカス誤差信号なども生成する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

まずこの発明が適用された光ディスクドライブ装置の構造的外觀を説明する。図1において、光ディスクドライブ装置1は、モータシャシ2に固定され光ディスクDを所定の速度で回転させるスピンドルモータ3と、光ディスクDの図示しない記録面にレーザビーム（光ビーム）を照射するとともに、記録面で反射されたレーザビームを取り出す光ヘッド装置4と、この光ヘッド装置4を光ディスクDの記録面と平行な方向に移動させる駆動機構5を有している。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

また、上記のコイルへの電流供給方向と大きさにより、レンズホルダ7を軸周りに回転させて、対物レンズ8、9の所定位置の切換えを行うことができる。つまりCD再生時とDVD再生時では対物レンズ8と9の位置を切換える必要があるからである。なおこの切換方法は各種の方法が可能であり、ここに示した方法に限定されるものではない。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

第1の光源11から出射した光は、第1のビームスプリッタ12（平板タイプ）により反射され、第2のビームスプリッタ13を通過する。この第2のビームスプリッタ13（プリズム）に対しては、第2の光源21からの光が入射している。第2のビームスプリッタ13は、第2の光源21からの光に対しては、その進行方向を変換し、第1の光源11からの光の進行方向と同じ方向にする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

DVDの再生時の光の波長は、例えば650nmである。第1のビームスプリッタ12は、波長選択膜を有し、光源11からの光を反射して進行方向を変換するが、ディスクから反射して戻ってくる反射光は透過させる。また780nmの光も透過させる。